

# 日本共産党演説

## 雇用・社会保障まもり、消費税増税ストップ

大企業に  
モノを  
言える党

# 日本共産党を 伸ばしてください



港区で演説会  
300人が参加

日本共産党港地区委員会は3月28日、三光小学校体育館で演説会を開催し、300人が参加しました。富田なおきは、笠井亮衆議院議員（比例東京ブロック）、おおつか未来さん（港地区雇用・福祉相談室長）とともに、国政・都政での「国民が主人公」への政治の転換と日本共産党の躍進を訴えました。

子どもたちの未来、雇用・くらしを守るために、なんとしても国政へ

富田なおき

富田なおきは、まもなく3歳になる自分の子どもの成長にふれ、「子どもたちみんなが健やかに成長してほしいと願っているが、そのことが脅かされている」と指摘。国の社会保障削減政策のもとで、保育所の待機児童の増加、営利企業の参入などによる安上がりの保育の実態を告発しました。

米軍基地のグラム移転費用で、45万人分の保育所ができる

米軍基地をグラムへ移転するために日本が負担する費用約6000億円があれば、45万人分の保育所を増設できることを示し、「大

おおつか未来さん

オリンピックやめ、都政に福祉の心を

都政へ挑戦するおおつか未来さんは、医療・福祉の現場で働いてきた経験から、「今の都政には福祉の心がない」と批判。

9兆円もつぎこむオリン

笠井亮衆議院議員

政治を動かし、中身を変える  
日本共産党の躍進こそ

笠井亮衆議院議員は、西松違法献金疑惑の究明にフタをして、まともな審議もせずに、09年度予算と消費税増税にルールを敷く税制「改正」法案の成立を押し切った自民・公明の与党とそれに手を貸した民主党を、「国民より財界・大企業に顔をむけた政治だ」ときびしく批判。

国会で正面から追及してきた日本共産党の活動を紹介するとともに、違法献金疑惑の真相究明や景気悪化と雇用破壊から国民を守る

企業にはつきりモノが言え、アメリカいいなりをやめさせる日本共産党を大きく伸ばしてください」と訴えました。

また、27日に秋葉原で取り組んだ街頭相談に寄せられた派遣切りされた労働者の具体例を紹介し、大企業の横暴を規制して、雇用のルールを確立し、内需主導の経済への転換を訴えました。

そして、「なんとしても国政の場へ。日本共産党の躍進で政治の中身を変える年にしたい」と決意を述べました。

ピックなどのムダづかいをやめ、広尾病院の都立病院としての存続、保育所の待機児童解消など、政策と決意を語りました。

ために全力で取り組む決意を述べました。

また、北朝鮮のロケット発射問題で防衛相が破壊措置命令を出したことについて、日朝平壤宣言で日朝間でトラブルが起きたら何でも話し合いで解決する項目があることを指摘。そのような外交的努力をやらぬまま軍事で身構える政府の対応を批判し、「北朝鮮に対してロケット発射を自制することを強く迫るあらゆる外交的努力を尽くすべき」と強調しました。

### 参加者の感想から

企業による政治献金禁止。都政にあっては、東京オリンピック反対。これを声を大にして訴えてください。以上を軸にして雇用・福祉を重視する政治に転換する必要があります。社会は本当にひどいことになっているので、

なんとしても共産党を伸ばしていかなければなりません。（社会保障予算の）2200億円は減らさないで、元に戻すことです。病院を減らさないでください。困っている人を助けてこそ、政治の力です。



日本共産党衆議院東京1区  
国政対策委員長・若者相談室長

# 富田なおき

事務所ニュース

18 2009.4.5

発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25  
TEL 03-3357-3392 FAX 03-3353-4912  
E-mail:tomita-naoki@nifmail.jp

# 富田なおきの へのへのもへ路

（日本共産党新宿くらしの相談室長）と地域を訪問中に初めて行った時、境内



雄の狛犬

訪問中に初めて行った時、境内

た我が家の近所・神田明神と共通の平将門伝説がここにもあることを知って、びっくりしました！

## 大都会の心のふるさと 鎧神社（新宿区）

総武線大久保駅と東中野駅の間、こもりと樹木が見えるのが、鎧神社です。静寂にみちています。普段は人影もまばらなだけとか。

辺で育った人は、今でもお祭りの時は子や孫をつれて帰ってくるよ」とのこと。大都会のなかでも心のふるさとになっているのですね。

丸ノ内線 3月28日からワンマン化

ラッシュ時は1分50秒間隔で運転する超過密路線の地下鉄丸ノ内線のワンマン化が、3月28日から実施されました。これに先立ち3月24日、東京メトロに、利用者の安全を脅かし、サービスを後退させるワンマン化を中止するよう、申し入れました。

実施前の試運転では、乗客がドアにはさまれるケースが相次ぎました。沿線には国立・私立の学校もあり、小学生も利用しています。驚くことに、沿線の区役所、学校、警察などに周知を始めたのが、実施のわずか5日前であることが明らかになりました。

富田なおきは、あまりにも住民おきざりで拙速であることを強く指摘しました。ワンマン化の撤回、安全対策のためにひき続きがんばります。

## 丸ノ内線 3月28日から ワンマン化

## 重大事故につながる危険 東京メトロに撤回を要求



党都議団、牛尾こうじろうさんなどに、東京メトロに申し入れ（3月24日）



秋葉原で街頭相談

## 派遣切りで路上生活寸前 生活保護申請し受理

牛尾こうじろう千代田地区都政対策委員長（左端）と相談活動に取り組む富田なおき（右端）

3月27日、秋葉原駅前で日本共産党千代田地区委員会と千代田労働者後援会の街頭相談に参加しました。

昨年12月に派遣切りにあつたという50代の男性が、「職を探しているが、山谷の宿泊所に住民票があるため、面接で『住所が不安定だ』と断られ続けている。所持金は4千円で困り果っている」と相談。

富田なおきと木村正明区議がいつしよに区役所に行き、生活保護を申請。受理されて、仮住まいを確保でき、ひとまず路上生活の心配はなくなりました。

## 消費税増税ノー！ 内需主導の景気・雇用対策を

### 3・13重税反対新宿統一行動に参加



党新宿区議団のみなさんとともに統一行動に参加

3・13重税反対新宿統一行動に参加し、日本共産党を代表して決意表明しました。行動には320人が参加し、集会後デモ行進。新宿・四谷両税務署に申し入れた後、約200人が集団申告しました。



比例東京ブロックの笠井亮衆院議員、池田真理子さん、谷川智行さん、とくとめ道信さんなどといっしょに

## 保育所

## 入所希望急増への緊急対策を 公的責任後退させる制度改悪 厚生労働省に説明求める

保育所への入所希望者が急増していることへの国の対策として、厚労省社会保障審議会少子化対策特別部会第一次報告が保育の公的責任を後退させる制度改悪の方向を打ち出した問題で、3月13日、厚労省に説明を求めました。

参加者からは、入所希望者急増について国有地活用を求め